

令和2年度 地域復興実用化開発等促進事業費補助金（第1次公募・新規）採択結果一覧

1 ロボット・ドローン分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化開発場所
1	特殊用途における業務用自律移動ロボットの実用化開発	人間の関与が不要な自律走行が可能で、特殊用途における日常作業の生産性向上に貢献する、業務用自律移動ロボットの実用化開発を実施する。製作においても南相馬市内企業と連携し、メイドイン南相馬の革新的なサービスロボットの実用化を目指す。	(株)クフウシヤ «2021001054849»	南相馬市 神奈川県
2	ドローンを用いた次世代型インフラ点検技術の実用化開発	5年に1回の点検が義務付けられた橋梁点検について、従来の近接目視、打音検査による点検方法に橋梁点検用ドローンによる点検（画像撮影）技術と点検画像の自動画像解析による損傷解析技術を組み合わせる事で、精度が高く、高効率な橋梁点検ソリューションを開発・提供し、社会インフラの安心・安全な社会創りに貢献する。	(株)デンソー «9180301014251»	南相馬市
3	ロボットを災害現場でタイムラインに沿ってシームレスに運用するための実用化開発事業	消防本部・消防署への災害対応ロボット・システムの販売（災害対応ロボットの社会実装）を目的に「隊列飛行システムを基盤技術とした複数ロボットを災害現場でタイムラインに沿ってシームレスに運用するためのシステム及び機器」の開発を行う。	(一社)ふくしま総合災害対応訓練機構 «9380005012143»	南相馬市
			(株)東日本計算センター «3380001013670»	いわき市
4	特殊環境向けアバターロボット（人型遠隔操作ロボット）開発事業	アバターロボットを現場適応ベース機、危険環境対応機と、段階的に作業能力・環境対応能力を向上させ、最終的に廃炉作業を含めた特殊環境下で人と同等以上の作業が可能な特殊環境対応機の社会実装を目指す。	(株)メルティン MMI «7012401024371»	南相馬市
5	災害支援用水陸両用飛行ロボットシステム開発	今までの無人機は、陸上の200m程度の滑走路がある場所での運用が可能である。しかし、災害発生時には滑走路の確保が困難で、河川及び海上からの離着水が出来る水陸両用無人機システムの開発を行う。	(有)ランドビルド «3380002030558»	浪江町
			フジ・インバック(株) «8020001003257»	
6	ライフスタイルスメルセンサー開発	匂いの情報と情報源を感知する端末と、低コストなネットワーク環境を用いて構築されるクラウドを開発し、徘徊者捜索、排せつ予測、体調管理などライフスタイル管理を実現するスメルセンサーシステムの開発を行う。	(株)リビングロボット «6010001189446»	南相馬市

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
7	大型ドローンの有人地帯での目視外飛行に向けた信頼性向上に関する開発と実証実験	大型ドローンの有人地帯での目視外飛行実現に向けた研究開発を実施する。本事業では、有人地帯での飛行許可取得に不可欠かつ最大障壁である信頼性の向上を目的とし、安全性解析結果をもとに、信頼性向上が求められる商品に関して信頼性向上開発を実施する。	(株)SkyDrive «4011101084852»	南相馬市
8	屋内移動ロボットの安全性・安定性改良および運用開発事業	飲食業界等は、業務の自動化の必要性を強く認識しており、弊社は共同での試験導入を進めていく中で、安全性と運用安定性が課題となっている。本事業では、この課題に取り組み、現場での試験運用の中で、ロボットの稼働率の向上を目指す。	SOCIAL ROBOTICS(株) «9012801016628»	南相馬市

2 エネルギー分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	新規な炭素材料の開発とその製造及び評価技術	蓄電デバイス用途を中心にエネルギー分野に適した新規な炭素材料製造の事業化を目標として、豊富な経験をもとにした炭素構造制御技術による高機能・高性能化、競争優位性に優れる独創的な製造技術の開発を行う。	(株)クレハ «7010001034766»	いわき市
2	リユース二次電池の寿命測定（劣化診断）システムの開発・検証	自動車販売店等と連携し、中古車の二次電池を、太陽光発電を利用した自動車用二次電池のストックヤードに保管。充放電の際は制御盤（制御装置）を弊社が開発し、保管したリユース用二次電池を劣化させないよう制御しながら太陽光発電を利用。その際二次電池の寿命測定（劣化診断）システムを開発し、リユース電池を短時間で診断し価値を決め分類できるようにする。	東洋システム(株) «2380001013457»	いわき市
3	再生可能エネルギーを利用した大気中の二酸化炭素回収システムの開発	再生可能エネルギー由来の水素を利活用するために運びやすい燃料や化学品に変換する技術が求められている。化学品に変換するには二酸化炭素が必要であるため、水素製造と同じ場所で再生可能エネルギーを利用して大気中から二酸化炭素を低コストで回収する技術開発を行う。	(株)IHI «4010601031604»	相馬市

3 環境・リサイクル分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	バチルス菌優占化装置と高分解活性バチルス菌を用いた余剰汚泥削減システムの開発	排水処理における活性汚泥細菌中でバチルス菌を優占化すれば余剰汚泥の原料や悪臭の抑制ができる。優占化装置の実証機を製作し、さらに、強力な有機物処理能力を持つバチルス菌株を独自に分離し、利用することで余剰汚泥の減量効果を実証する。	タオ・エンジニアリング(株) «5380001015327»	いわき市
2	クリーンな水素社会実現にむけたFCV技術を活用したグリーン製品の実用化開発	①FCVユニットを再活用したグリーン製品の实用化開発②FCV技術が応用できるモビリティ関連製品の实用化開発の大きく2つを主軸としている。①は、FCVスタックを公共施設向け中型定置用燃料電池として実用開発することを、②は、将来的にFC自体を他の媒体(船舶・鉄道等)へコンバージョンすることを想定した、研究・実用化開発することを、それぞれ目標としている。	(株)タジマモーターコーポレーション «2011201006691»	いわき市 南相馬市
3	石炭灰を主原料にした環境修復材(ろ材)の開発	石炭灰混合材料の新たな市場拡大(用途開発)として、同種の他社製品で既に実績のある環境修復材(ろ材)への適用を目的に技術開発を行う。	福島エコクリート(株) «9380001026642»	南相馬市
4	IGCCスラグの石灰混合材料への活用	福島エコクリートが現在製造している石炭灰混合材料(人工砕石:ORクリート)に、県内で運転開始予定の石炭ガス化複合発電(IGCC)プラントから発生するIGCCスラグを混合利用することで、ORクリートの力学特性の向上を図り、使用用途の多様化を目的とする。	福島エコクリート(株) «9380001026642»	南相馬市

4 農林水産業分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	地域資源環境を促進するドローンとAIを活用した森林資源推定・予測システムの開発	放射能汚染により現状は利用が困難な浜通り地域の森林の管理に資することを目的として、ドローンによるレーザー計測と機械学習技術、森林モデリングの技術を統合し、広域での毎木(樹木個体)レベルでの森林資源量の推定と将来成長予測を行うシステムを開発する。	(国研)国立環境研究所 «6050005005208»	三春町 茨城県
			(株)ふたば «9380001016676»	富岡町

2	陸上養殖プラントにおける作業の自動化と収益性向上に貢献する給餌システムの開発	新設が相次ぐ陸上養殖事業において、プラント運営コスト及び作業時間の5割を占める「餌やり」をAIシステムにより自動化・効率化し、福島県浜通り地域発の新規事業として国内外に販売展開を進める。	(株)林養魚場 «1380001010380»	いわき市
			ウミトロン(株) «2010601050333»	
			NEC ネットズエスアイ(株) «6010001135680»	
3	パネルログ工法に関する新商品の研究開発	福島県浜通りの林業・製材加工業・建設業の復興と繁栄に貢献するため、国産無垢木材をふんだんに活用した建物を幅広い価格帯で市場に流通させる「パネルログ構法」に関する設計指針や仕様、周辺設備をさらに研究し、新商品の開発を行う。	(合)良品店 «2380003002813»	いわき市
			(株)木の力 «2380001020692»	いわき市
4	自立走行型自動収穫・人工授粉ロボットやAIを活用した、イチゴの完全閉鎖型植物工場の実現に向けた実証、研究開発	最新のロボットやAIを活用し、省人化によってイチゴを大量生産出来る完全閉鎖型植物工場の実現を目指していく。弊社本社 (Farm&Factory TAMURA) の研究開発室内で、イチゴの栽培方式や栽培設備の抜本的な見直しを行いながら、ロボットやAIを取り入れた最先端の栽培生産システムを構築していく。	(株)A-Plus «8030001123013»	田村市

5 医療関連分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化開発場所
1	放射線治療リアルタイムモニターのための高耐放射線γ線カメラの実用化開発	耐放射線特性に優れるシリコンカーバイド (SiC) 半導体素子を用いて、高放射線下でも劣化が少なく長寿命化が可能なフォトセンサを開発することにより長寿命なγ線カメラの実用化を目指す。	福島 SiC 応用技研(株) «2380001024660»	楢葉町
2	冷陰極 X 線管を用いた移動型デジタル式汎用一体型透視診断装置 OI-Vision	現在 PiXRON-THAILAND 社にて開発中である移動型デジタル式汎用一体型透視診断装置 OI-Vision システムの X 線源部に弊社が開発製造した冷陰極 X 線管を用いることで、より小型で操作性の良い移動型デジタル式汎用一体型透視診断装置について国内での製品化を実現します。	PiXRON JAPAN(株) «7380001030051»	いわき市

6 廃炉分野

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	低エネルギーベータ線の連続計測装置の開発	低エネルギーベータ線を連続で計測できるシンチレーションカウンターの開発と、それを用いたオンライン全量計測システムの開発を行う。	(一社)新生福島先端技術振興機構 «1380005011458»	南相馬市
2	放射線スクリーニングにおける被測定物の形状特定並びにロボットによる自動測定装置	原子力発電施設等、放射線管理区域における資機材等の搬出時に様々な形状の資機材に実施する放射線スクリーニング業務の測定時間短縮による経済効果並びに人的負担の軽減を目的として開発に取り組みます。	ふたばロボット(株) «9380001028481»	檜葉町

7 航空宇宙分野（新規案件の提案なし）